

学級経営の今日的課題と学級崩壊に関する一考察

井上 莉佳子 (生涯スポーツ学科 学校スポーツコース)
指導教員 中菌 伸二

キーワード：学級崩壊，学級経営，構造化面接法

1. はじめに

近年，学級経営をめぐる問題が起きている。1997年頃から，学級崩壊ⁱⁱについての報道が多く取り上げられるようになった。このことを受け，文部科学省や研究機関で，学級崩壊について研究が進められるようになっていく。

学級経営を行う教員の現状は学級以外での業務も多くあり，それらに多くの時間と労力を取られる。

そこで本研究では，学級経営と教員の業務の関係，学校内組織のあり方を検証し，なぜ学級崩壊が起こってしまうのかの問題点を洗い出す。また，それには学級経営を行う主体の教員自身にフォーカスする必要性があり，本研究の問題解決の糸口とする。

2. 研究方法

①文献研究：教員の実態や組織に関する

先行研究及び文献調査

②構造化面接法によるインタビュー調査：

現役小学校教師（男子1名，女子3名の24歳～32歳までの計4名）

3. 結果と考察

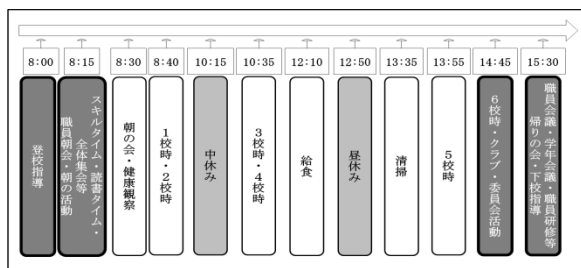


図1：文部科学省「教員をめざそう！」を筆者改変

図1は教員の1日の業務内容である。色の変っている部分が学級外の業務を行っている時間を表している。教員の学級外の業務の多さにより教員が学級に注げる時間がいかにすくないかということが明らかになった。莫大な業務により，一日の労働時間が定められている8時間をはるかに超えてしまっているという実態もある。そのことから睡眠時間や食事までも十分にとることが難しい。このような実態が学級経営に支障をきたす一因となっている。

4. まとめ

表1：マズローの6段階欲求説に則したインタビュー調査結果

	A教員	B教員	C教員	D教員
1, 生理的欲求	△	○	△	×
2, 安全の欲求	○	○	△	×
3, 帰属の欲求	○	○	○	△
4, 承認の欲求	○	○	○	△
5, 自己実現の欲求	○	○	×	×
6, 利他への欲求	○	○	△	×

○満たされている △まあまあ満たされている ×満たされていない

マズローの6段階欲求説は，人はそれぞれ下位の欲求が満たされなければ，その上の欲求が生まれてこないという。教員にとって，学級経営を行う上で大切な欲求が6段階目の，利他への欲求である。しかし，表1に示したようにD教員は食事を取る時間（生理的欲求）もなく，職員室デスクの整理整頓がされていない（安全の欲求）が満たされておらず，この教員は他人への施し，即ち子どもへの指導へのエネルギーが少なく，学級経営を上手く行うことができないと推察できる。

学級経営がうまくいかない要因は子ども達側だけの問題ではない。教員の置かれている組織体制・教務過負担により，教員自身の欲求が満たされず，それが学級経営に深く関係していると考えられる。

教員はまさしく他人への施しであるため，教員のモチベーションを担保し，学級へ最大のエネルギーを注げるような体制を作ることが本研究の考察として考えられるのである。

引用・参考文献

国立教育研究所 (1997) 学級経営をめぐる問題の現状とその対応 (中間まとめ) .

山口 賢 (2010) 小学校低学年における学級経営の在り方. 京都市総合教育センター紀要 平成22年度.

ⁱ学級経営，学年経営の基本方針をもとに，学級を単位として展開される子どもたちの学習活動や集団活動が有効に成立するよう，人的・物的・運営的諸条件を総合的に整備し運営すること。有村 (2004)

ⁱⁱ学級崩壊・国立教育研究所は，子どもたちが教室内で勝手な行動をして教師の指示の従わず，授業が成立しないなど，集団教育という学校の機能が成立しない学級の状態が一定期間継続し，学級担任による通常的手法では問題解決ができない状態に立ち至っている場合と定義づけている